

高齢者の重大事故が多発！

昨年、愛知県内の高齢者の事故死者数は90人（前年対比－17人）と減少し、事故死者数全国ワースト1位返上の要因の一つでしたが、本年は年初から高齢者の死亡・重体事故が多発しています。

1月12日現在の全事故死者6人のうちの5人が高齢者で、高齢者が被害者となる重体事故も3件発生しています。

高齢者事故の特徴（死亡事故・重体事故の被害者8人）

- ・ 8人のうち6人が**歩行者**（全員が道路横断中）
- ・ 被害者の平均年齢が**81歳**と高い
- ・ 歩行者・自転車利用者7人のうち**夕暮れどきから夜間の時間帯**が5人

わしも最近の寒さには参っておって、特に歩くときに体が丸まり足元しか見とらんようじゃ。

皆さんも歩くときには姿勢に注意して、周りをよく見てくださいな。

また、ドライバーの方も、わしみみたいな年寄りを見たら、周りを見ていないかもしれんので、十分な注意をお願いしますぞ。



県警シンボルマスコット
愛称「コノハファミリー」



新しい高齢運転者標識
(2月1日から。なお、従来の標識も当分の間使用できます。)